

特別号

きららおひさまこども園

地域子育て支援センターさら



きららだよ



感染症の流行で外出もしづらく、おうちにいる時間も増えているのではないのでしょうか。地域子育て支援センターさらも、感染拡大防止のため当面の間、臨時休館することになりました。そこで、「さらだよ 特別号」として、おうちで楽しく過ごすヒントになればと、いくつかおうちでもできる親子あそびをご紹介します。



おうちの中にあるものがおもちゃに。特別な準備や用意をしておかなくても親子で一緒に楽しめる遊びがたくさんあります！

4カ月～5カ月

聴覚あそび

いろいろな音を聞き分けます

好奇心の強い子ほど、音の違いを楽しみます。語りかけも、どんどんしましょう。

あそび①



紙をしわくちゃにする音を聞かせます。

あそび②



外に出て、落ち葉を踏み音や木の葉の触れ合う音を聞かせます。

あそび③



毛糸の靴下に鈴をつけてはかせます。遊びが終わったら元の靴下に戻します。

あそび④



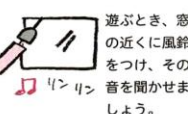
赤ちゃんの頭の上、後ろ、横などでガラガラを振ります。

あそび⑤



赤ちゃんを抱いているとき、子守唄を歌ったり、詩を朗読します。歌や詩を理解しなくても、動きやリズムを楽しむことができます。

あそび⑥



遊ぶとき、窓の近くに風鈴をつけ、その音を聞かせましょう。

6カ月～8カ月

視覚あそび

ものを区別し、思考力がめばえます

ものにはそれぞれ名前がある、〇〇すれば〇〇になるなど、見たものから好奇心が広がります。

あそび①



何度でも繰り返し遊んであげよう

これはコップ、これはスプーン

家庭で使う道具を与えて遊ばせます。ポット(お湯の入っていないもの)、フライパン、スプーン、コップ、ヘアブラシ、雑誌、はがき、布などを与え、赤ちゃんがまだ言葉をしゃべれなくても、それぞれの名称を教えます。

9カ月～11カ月

自己認識あそび

“自分の姿”を理解しはじめます

自分の身体の部分に名前があること、自分と他人が違うことを理解できるようになります。

あそび①



赤ちゃんを自分の全体像が映る鏡の前に連れていき、赤ちゃんの目、鼻、口、耳などを指さしてその名称を言います。次に「〇〇ちゃんのおめめは？」と言って、赤ちゃんが自分の目を指さすのを教えます。

あそび②



鏡の自分を見ている赤ちゃんにおせんべい(赤ちゃん用)を与えます。赤ちゃんは食べている自分の口、舌、歯を見て、それを指さすようになります。



012歳赤ちゃんの心を育てる楽しい五感あそびより参照・抜粋

もうすぐこどもの日

子どもたちみんなが元気に育ち、大きくなったことをお祝いする日です。みなさんのおうちではどのように過ごす予定ですか？

こどもの日のはじまりは？

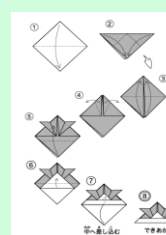
もともとは「端午の節句(たんごのせつく)」と呼んでいて、男の子をお祝いしていました。今では子どもたちみんなをお祝いするようになりました。

てづくりでお祝いしよう！

子どもの健やかな成長を願う節句。親子で折り紙や画用紙・新聞紙などで兜を折ったり、親子でこいのぼりをつくって飾るのも、楽しい経験になりそうですね。

折り方がシンプルな兜は、お気に入りのハンカチや、かわい絵柄の紙ナプキンでも作ることができます。

子どもだけでなく、ママの好きな柄で作ってお部屋に飾るのもおすすめです。折り紙で小さな兜を作ってつまようじにつければこどもの日のごちそうを彩るピックが簡単に作れます。 兜の折図→



利用者支援事業さら【基本型】(担当:水澤)

TEL: 0256-78-7804 (受付時間 月～土曜日 9:00～17:00)

専用携帯電話: 090-4452-5212 (受付時間 月～土曜日 9:00～17:00)

e-mail kiraraohisama@e-taiyou.jp (返信にお時間をいただくことがございます。ご了承ください。)

地域子育て支援センターさら

新型コロナウイルス感染拡大対策に伴い当面の間、支援センターを臨時休館することとなりました。相談は通常通りおこなっております。電話またはメールでお受けできます。子育てで困っている、ちょっと話を聞いてほしい…など子育てに関する相談・困りごとなんでもお話しください。メールでのご相談は件名“子育て相談”にて送信ください。

TEL: 0256-78-7804 (受付時間 月～金曜日 9:00～16:00)

e-mail kiraraohisama@e-taiyou.jp

(メールの場合は返信にお時間をいただくことがございます。ご了承ください。)

今後の予定につきましては、ホームページにてお知らせいたします



利用者支援事業さら【基本型】

いかがお過ごしですか？



新型コロナウイルスの影響で子育て施設が休館している中、数名の方に電話でお話を伺いました。「家族が元気であるのがなにより」「人混みを避けお散歩をしたり公園で遊んだりしている」また、「お出かけしないことで子どもの生活リズムが整った」「お菓子作りなど今までできなかったことを子どもと楽しんでいる」など、親子で過ごす時間の大切さを再発見した方もいました。一方で、他者とのつながりがないことへの不安を感じ、日々の育児の疑問や困りごとの解決の場、子育ての大変さを共感しあう存在が、子どもを育てていく上で欠かせないことも確認できました。

こんな時だからこそ、私たち子育て支援専門員は、皆さんの近くにいたいと思っています。まずは電話・メールでご連絡ください。